

# 「第2回地域づくり市民会議」における主な意見のまとめ

## テーマ1 地域の防災力向上と絆づくり ~前回の議論を受けて~

はじめに、市から「第1回地域づくり市民会議のまとめ」を説明した。それを踏まえながら、出席者から第1回会議以降各団体で実施した防災訓練、災害時要援護者の支援、運動会、お祭りなどの取り組み状況を報告してもらった。第1回会議で出た課題に対し各団体が取り組んだ事例も紹介され、さらなる連携強化と地域力の向上のための話し合いが行われた。一方で、新たな課題も提議された。

### 自主防災組織

#### ◎第1回会議における主な意見（課題・取り組み）

- ・自主防災会が形だけとなっている。役員のなり手がいない。
- ・町内の役員全員を防災委員とすることにして、一人一人に経験してもらう。

#### ◎第2回会議における主な意見（課題・取り組み）

先日の台風の時町内でも被害があったが、平日の昼間だったので若い自主防災会員が仕事等で全然集まらない。そこで、高齢者を使うという案も一理ある。〔中郷小学校区〕
防災訓練には、半分くらいは参加している。昼間働いていて地域にいない人を、防災会の中心に置いてはだめ。〔北上小学校区〕
マンションの自治会ということで、比較的年齢層も若い人が多く、仕事の時間帯や休みも皆ばらばら。集まるのもうまくいかない状態で困っているが、プリント等はほとんど使わず、メールでやりとりをしている。それによって、参加できない人も後で見ることが可能。〔南小学校区〕
家具の転倒防止のため、器具の取り付けを助ける組織を町内会の中で立ち上げることに決まった。〔向山小学校区〕
耐震診断について、町内で希望者を回覧して取りまとめた。〔山田小学校区〕
自治会独自で防災アンケートを実施した。回収率は66%。結果は「非常用持ち出しを用意している」36%、「食糧3日分」25%、「水の備蓄」37%、「家具の固定」2%、「避難所を家族が知っている」45%、「自主防災の訓練に参加しているか」19%など。〔徳倉小学校区〕

### 資機材・備蓄

#### ◎第1回会議における主な意見（課題・取り組み）

- ・被災時のための三島市の備蓄食料はどのくらいあるのか。……最低3日分は各自で用意してほしい。（市）
- ・町内会で1週間分の食料を備蓄してある。

#### ◎第2回会議における主な意見（課題・取り組み）

いつでも使えるように、毎月1度か2度、ポンプ・発電機等を全部動かして、エンジンをかけて調子を見ている。備蓄の食糧も、10年とか保存期間が長いものを買っている。〔錦田小学校区〕
男性が発災時にいるとは限らないので、女性でも扱える小さい消火器に替えた。〔北小学校区〕
水の確保は災害時には絶対条件になるが、農家の方が井戸を持っているので、これを確保した。また、竹倉のきれいな湧水を使わせていただくことになった。この何百年も前から湧き出ている水を、錦田地区全体の方に知ってもらえればと思う。〔向山小学校区〕
家庭単位の防災力向上ということで、家庭に当たり前にあるもので、停電の際使うキャンドルが作れる。廃油で作るキャンドルと、防災カンテラ。各団体の総会等で簡単に作製講座を行ったら、皆さん楽しくできるし、家庭単位で知ってもらえる。〔沢地小学校区〕

### 防災訓練

## ◎第1回会議における主な意見（課題・取り組み）

- ・防災訓練のマンネリ化が課題である。
- ・どのような訓練をやれば効果的なのかわからない。
- ・若い人たち、特に中高生の参加が少ない。
- ・「避難完了の札」や「黄色い目じるし」を避難世帯の玄関に貼る。

## ◎第2回会議における主な意見（課題・取り組み）

起震車訓練を実施し、今まで以上に人が集まってくれた。〔各校区〕
AEDの講習を、消防署や消防団の協力のもと実施した。〔各校区〕

防災訓練の後に運動会を行った。人を集めるには良い方法である。一緒にやることに疑問を持つ人もいたが、皆が大勢集まって行えるということで意義がある。〔中郷小学校区〕

防災訓練は9月上旬で、雨が降ったが災害は雨天でも起こるということで実施した。例年は各班ごとに集まるというやり方だが、今年は趣旨を変えて実際に災害時を想定し、個々に集まってもらった。参加者には名前を書いてもらって、お宅の状況はどうですかと聞いた。〔東小学校区〕

今年の防災訓練は、大地震の発生を想定して実践的に行った。避難所には全員は入れないことを周知した。ではどうするかということで、公民館とか自宅で生き抜くしかないと説明した。〔坂小学校区〕

今年の防災訓練では、避難者カードを作った。避難方法も各自で避難という形にし、実態に合うような形にした。消防に教わって竹を使った応急担架を行い、1人運ぶのがどれだけ大変かを体験してもらった。〔北上小学校区〕

あれやろうこれやろうといういろいろな意見が出るが実施が難しいので、やることを絞って、簡単にバケツを30個位用意して、バケツリレーをやる。あと、町内を一周して、うちの町内はどうなっているのかと皆で行列してぐるっと回る。同じ町内でも知らない所が結構ある。〔東小学校区〕

被災時には水が大事であるので、耐震防火水槽の水を実際に飲んでみようということで、ろ過機を使って、十分飲めるということを確認した。〔坂小学校区〕

町内でハグ（避難所運営ゲーム）を実施する。避難所で起きるべきいろいろな事柄への対応は、町内の役員たちが自らその場で作りだしていくものだとすることをぜひ知ってもらいたい。リーダーだけが実施するのではなく、多くの人に参加してもらおう。〔南小学校区〕

防災訓練の様子を訓練の項目毎にDVDに撮っている。後でDVDを見ることで、訓練の参加者・反省点・改善点など全て分かる。引継ぎの時も前年の様子が分かるので、ぜひ参考にしてほしい。〔北小学校区〕

東日本大震災があったので、例年より防災訓練の参加者は多かった。今年は突発的に起きた場合、予知された場合に対応するかという啓発的なことに力点をおいた。〔北上小学校区〕

消防団では、大地震の際は、まず自分の安全と家族の安全確保をしてから詰所に集まるように指示してある。そのため、今回の防災訓練を利用して、消防団員であっても、自宅から1次避難場所まで町内の方と一緒に移動するというところを行った。〔徳倉小学校区〕

マンネリ化という話があるが、訓練は年に1回なので、忘れてしまっている。消火器の使い方がわからない人もいるので、毎年基本的なことはきっちりやっていただきたい。（消防団意見）〔向山小学校区〕

町内によって防災意識の格差がある。また、防災訓練参加者の役員等に対する依存心が強い傾向があり、啓蒙的な部分ではまだまだという感じを受けた。われわれに「あれやれ、これやれ」と言うが、本来自分たちでやるべきことではないかと思った。（防災委員意見）〔錦田小学校区〕

静岡県地震防災センターの郷先生に来ていただいて、実際に災害時に何が必要かを話していただくと考えている。そのほかにも、実践的な訓練を行いたいと思っている。〔長伏小学校区〕

静岡県地震防災センターへ町内で貸し切りバスで行き、講習を受ける。〔各校区〕

防災訓練のときに高校生が来たが、証明だけもらって実際の訓練には参加しなかった。これでは意味がないと思う。〔山田小学校区〕

## 要援護者の支援

## ◎第1回会議における主な意見（課題・取り組み）

- ・要援護者の把握ができない。また、支援体制が構築できない。
- ・個人情報保護の問題などから、名簿の提出が得られない。
- ・芙蓉台では、要援護者の支援ボランティア会を平成22年からスタートさせた。

## ◎第2回会議における主な意見（課題・取り組み）

〔市〕障がい者や要介護者約2,800人に対し、災害時に援助が必要かどうか、情報を自治会等に提供してよいか、直接通知を出して伺っている。930人ほどから支援を求めたいとの回答をいただいているので、自主防災会や民生委員に報告したい。
世帯名簿が出来ていない所もかなりあるようだが、とりあえず、ごく簡単に名前と住所、年齢も簡単に書く程度にしていけば出してくれるだろう。その地域にどういう世帯がいるかわかるので、まずはやってみる。〔南小学校区〕
65歳以上の一人暮らしの家を、民生委員と自主防災の方と3人で1軒1軒全部回った。そうしたら皆さん助けてもらいたいということで、承諾書を全員に書いていただいた。〔西小学校区〕
要援護者を把握しても、次の問題は、その方々を誰がどうやって支援するかということ。1民生委員ではとても支援体制はとれない。どうしても自治会組織で取り組まないといけない。各自治会にも資料が行くので、ぜひご協力をお願いしたい。〔各校区〕
敬老祝金の配布はふだん会ってくれない人でも会ってくれるので、事業仕分けの対象になったが、防災の視点からも続けてほしい。〔山田小学校区〕
東小学校が避難場所になっているが、バリアフリー化ができていない。東地区コミセンも避難場所は2階にあり、バリアフリースイレはない。車いすで避難したらちょっと厳しい。避難場所にするのなら、その辺りを少なくとも整備すべき。〔東小学校区〕

## 学校などの対応

### ◎第1回会議における主な意見（課題・取り組み）

- ・3月11日、フェアキャスト（子ども安全連絡網）が一斉に使用されたため、機能しなかった。
- ・大地震の際、子どもは自宅に帰すより、そのまま学校にいる方が安全なのではないか。

### ◎第2回会議における主な意見（課題・取り組み）

校長会でフェアキャスト対策を協議し、NTTにお願いして一般回線と別回線にしてサーバ機能を高めた。また、災害時の対応マニュアルを作成中であり、フェアキャストや電話が使えない場合の情報伝達方法や、学校ではこういう場合どうするか、例えば学校にいるとき、通学途中など色々な想定での対応をまとめている。〔各小中学校〕
3.11では、保護者の中でも、子どもは学校にいるのか帰るのかという話が出た。その時は先生たちの判断で、先生が引率して子どもたちは帰ったが、あらかじめ線引きして決めてあった方が、先生たちもありがたいのではないかなと思う。〔坂小学校区〕
フェアキャストで対応できない部分は、学校の理解を得た上で、電話連絡網をつくることになっている。PTAとしても学校と協力し、子どもの安全を確保していきたい。〔北上小学校区〕
雨等で警報が出たとき子どもは自宅待機が基本となるが、保護者が勤めていて子どもだけが家に残されていた場合、その後登校していただきとメールがきたときは、親同士が連絡を取り合い「一緒に連れて行って」というふうにつながりあっている。また、迎えに行けない時などは、学校の近くの友達の家をお願いして夕方まで遊ばせてもらったりとか、親同士が連絡している。そのためには、普段からの交友関係づくりが必要。〔佐野小学校〕
園児・赤ちゃんを抱えたお母さん方は、災害時に避難する中で非常に大変である。実際災害が起きた場合に、幼稚園にすぐ迎えに行くのはほぼ不可能かなと思う。災害があった場合にパニックになってしまった子どもをどうまとめていくのか、本当に危機的だと思う。〔東小学校区〕

## 子どもと地域の交流

### ◎第1回会議における主な意見（課題・取り組み）

- ・子ども会が減ってきている。組織されていても、加入しない子どもが増えている。
- ・梅名では子ども達を自治会館に宿泊させ、そこから小学校に通学、集団行動や地域交流を図っている。
- ・東小ではフェスティバルで夜の学校体験を実施。お年寄りに昔の遊びを教えてもらったりしている。

### ◎第2回会議における主な意見（課題・取り組み）

老人会と子ども会が連携して、囲碁教室、ハーモニカ教室、ゲートボール教室、輪投げ教室を行った。子どもたちは、普段自分たちが出来ないことをやらせてもらったと、皆とても喜んでいて。毎年の行事にしていきたいと考えている。〔向山小学校区〕
今までやっていなかった老人会と子ども会と交流を深めようと、夏休みに輪投げ大会をした。にぎやかに楽しくやった。これをきっかけに交流のひとつのステップになったかと思う。試合は高齢者が負けたので、再挑戦ということで練習に熱心になったところ。〔中郷小学校区〕
おじいさんやおばあさんから子どもまで皆で「ふれあいもちつき大会」をやろうと準備している。市の「子どもは地域の宝事業」を兼ねて、お祝いをやろうと取り組みを計画し、町内の各グループの責任者で協議を行っている。〔西小学校区〕
今年新たに、子ども会の子ども達にリーダー研修を行った。町内で何かやる時に、この子たちの力を借りてみようということがあったら、この地区にはこういう子がいるよと、核になるよということで紹介できるので、声をかけてほしい。〔徳倉小学校区〕
徳倉キッズは毎年通学合宿をやっている。子どもを2泊3日でお寺に泊めて、そこから通学させている。防災の点でも、いざという時にそういう所に泊まって、自分たちでご飯を作るということが非常に良い体験となる。また、毎週いろいろなことを体験させ、地域の皆さんの力の中で、子どもを育てていくという方針で、今年5年目になった。〔徳倉小学校区〕

## 運動会・お祭り

### ◎第1回会議における主な意見（課題・取り組み）

- ・多くの世代が一度に集まる小学校区の運動会は、地域の絆づくりに最適である。
- ・子どもからお年寄りまで参加して、トリム教室を実施している。
- ・地域のお祭りはコミュニケーションを図る良い機会。子どもが集まれば、大人同士の交流もできる。

### ◎第2回会議における主な意見（課題・取り組み）

校区運動会は地域の絆づくりとして一番の行事。今年も幅広い年齢層の多くの参加者が得られた。近所に住んでいるが仕事等で普段会えない人がテントの中で顔を合わせたりとか、ただ運動するというだけでなく、人と地域を知る機会になる。地区によっては、参加者のばらつき、年齢層ごとの参加種目のバランスなどの課題があった。〔各小学校区〕
体育振興会の運動会では、救急救命士に依頼して、昼休みにAED講習会を行い、かなり好評であった。小学校高学年の子たちが興味を持って熱心に見ていた。昼の休憩時間ではなく、プログラムの中でその時間を作っておけば、もっと見てもらえたのかと思う。〔長伏小学校区〕
体育振興会でどのスポーツの需要が多いかというアンケートをとった結果、ウォーキングや軽登山を取り入れようということになった。継続的に春と秋にハイキングに行っている。トリム教室の中でも、体育館の中だけではつまらないので、ナイトウォーキングをやっている。〔東小学校区〕
「自主防災設立記念祭」というネーミングの町内のお祭りが30回を迎えた。今年は、やはり防災ということを出してやろうということで、東日本大震災の写真を展示したり、家庭内D I Gのチラシを配った。町内の半数以上の世帯が参加し、お祭りを通して地域の絆づくりと防災意識を培うことができた。〔西小学校区〕

## テーマ2 ごみ問題と美しい地域づくり

市から焼却場の老朽化に伴う修繕費等の増大、埋立地の不足について説明し、さらなるごみの減量化（生ごみの処理、ミックス古紙の分別等）をお願いした。また、「ガーデンシティみしま」の取り組み、「タイディタウンコンテスト」の説明を行った。これらを踏まえ、各地域におけるごみ集積所の問題、分別に向けて取り組みなどが報告された。話し合いの中で、市民全体が三島市のごみ問題についての状況を認識し、実践に取り組む必要があることが改めて確認された。

## ごみ集積所の課題

### ◎分別など出し方のルール違反

環境美化委員の方と話したが、燃えるごみの中にビン・缶がいっぱい入っている。それを全部環境美化委員が取り出して、自分のところで洗って出しているのが現状だと言われた。〔南小学校区〕

一部の住民のマナーが悪く、ビン・缶の出し方のルール違反が多い。ソファ等が出してあったこともある。市では回収せずに置いていくが、出した人は悪いことをしているという認識がなく、1週間置いていても、もう関係ないよと取りに来ない。〔長伏小学校区〕

沼津では集積所に老人会が立っていて分別を監視するなど、とても厳しい状態である。その中で、アパートの住民にまずごみの出し方を教えた。学校で「防災教育」「環境教育」ということでやっているが、「教育」と名が付いていることで学校だけに任せるものではない。本来学校でやるべきことをやる時間がなくなっている状況ではないか。〔中郷小学校区〕

燃えるごみの日に蛍光灯などが置いてあることがあるが、誰が置いたのか分からない。違反を見つけたら、ルール違反の紙を貼っているが、置き放しだと他の人も捨ててしまうので、一度役員が持って帰り、収集日に出している。〔山田小学校区〕

危険物置き場があるが、マナーが悪く1ヶ月前から出している人もいる。大きい看板を作ったが効果がない。警告の為にセンサーライトを付けたが駄目だった。〔西小学校区〕

先日私の住んでいる所へ、猫の餌の缶を大きな袋に4つ程まとめて置かれていた。案の定、黄色い札が貼られていて、市は回収してくれない。我々が捨てたわけではない。1週間でも10日でもそのまま置いてあるので、市で何とか考えてもらいたい。〔北小学校区〕

〔市〕ルール違反のシールは、出した人に知らしめる意味。誰が出したのかは特定できないので、一度はそういう方法を取らせてもらう。

町内のお年寄りから言われたが、燃えるごみの袋の中に毛布を入れて出したら、黄色い紙を貼って残されたとのこと。ずいぶん思いやりにない。車もない高齢者など、ある程度のところは目に見てもらえないか。〔徳倉小学校区〕

〔市〕毛布等はスクリーンに巻き付いてしまっ、壊れてしまい、何百万何千万という修理費がかかる。自分で切れない場合は「ふれあいさわやか回収」ということで職員が行って回収する。あるいは直接搬入していただければ職員が破砕機で細かくする。ぜひご理解を。

ごみ出しも含め、高齢者へのサポートとして、公共サービスを利用するのであれば、その前に私に電話をくれと言っている。高齢者のサポートは地域全体でできれば良いと思っている。（地域高齢者クラブの会長意見）〔徳倉小学校区〕

### ◎ごみ集積所の監視

捨てた犯人がいた場合、どういう対応をしたら良いのか。今の人達は何をするか分からないので、注意をしても、例えば包丁で刺されたら身も蓋もない。だからあまり言えない。〔北小学校区〕

資源ごみの日は、当番制で人に立ってもらい分別を徹底している。町内の監視による注意では、住民同士のトラブルもある。最初の1～2年は大変だと思うが、それを乗り越えれば定着していくのではないか。〔長伏小学校区〕

町内のとある集積所では、曜日に関わらず近所のおじさんが見張ってくれていて、捨てようものなら大声で注意をしている。そういう所は警戒して余り捨てていけないが、毎日のことなので大変だと思う。〔長伏小学校区〕

町内に熱心なおばあちゃんがいて、ごみ出しのときは必ず来て見張ってくれるので助かっている。〔北上小学校区〕

### ◎他の町内、他市町から捨てられる

朝、通勤路の裏道の集積所へ他の地区の人が放り投げて置いていく。そういう人が多いが、対策はどうしたら良いのかわからない。〔南小学校区〕

自宅がごみ集積所の前で、車が停めやすい場所にあり、テレビが出しっぱなしになっていたこともある。ちょうど道路側で、誰が置いたのかわからないような場所である。三島は出し方が緩やかなイメージがあるので、他市町から出されることも多いと思う。〔中郷小学校区〕

町外の方が車で来て、捨ててそのまま帰るといことが多い。これがどうしようもない。燃えるごみの回収の前の日に、蛍光灯が10本置いてあった。そういうものが結構目につく。これはもう個人の心次第でどうにでも変わることだと思う。〔北小学校区〕

道路端なので他の町内から車で来て置いていく。燃えるごみの中に缶が入っていたりする。たまたまごみの中に伝票が入っていたので、そこへ連絡したら「同じ市に住んでいるのだからどこへ出しても同じだろう」と逆に言われてしまった。〔北上小学校区〕

通り沿いにあるごみ集積所は、よその地域から捨てる人が多い。今年の8月から町内の人に、ごみ袋に「□□町〇〇組」と書いてほしいとお願いした。皆協力してくれて、よそからのごみも減ると同時に、分別など町内の方のごみの出し方も良くなった。〔西小学校区〕

三島市の周りの沼津市、清水町、長泉町は非常にごみに厳しい。もしかしたら他市町から、車で通勤がてら、ぽっと置いていく方がいるのではないかと。大型のものを出すときに、沼津市はいくらか徴収している。三島市もそういうことを考えたらどうか。〔佐野小学校区〕

伊豆の国市に住んでいる親戚が、三島は分別方法が非常に緩やかだと言っている。やはり人というのは大丈夫だと思うと緩い方へ流れてしまうので、三島でもきちんとダメなものはダメと、分別方法をもっとはっきりさせた方が、徹底させた方が良いと思う。〔徳倉小学校区〕

## 集積所以外への不法投棄

農地が多いので、空き缶やイヌのフンで困っている。空き缶は音がしないので、飲んだものをポンポン投げ捨てていると思うが、それを防ぐ良い案がないか教えていただきたい。〔南小学校区〕

月に1回、箱根のやまなみ林道の方までパトロールしているが、不法投棄で置を大量に捨てられたということもあった。箱根の里から国道までの間に生活ゴミが捨てられていて、犯人もわかった。〔佐野小学校〕

朝5時頃、神奈川県ナンバーのトラックがシャシが沈むくらい積んで、どこかへ捨てている。よく10台とか15台、一直線の所にずっとつながって、捨てる順番を待っているようだ。それが許可されて行っているのかどうかかわからないが、最初はちょっとした規模で許可していたとしても、知らないうちにすごく大きな捨て場所になっている。〔坂小学校区〕

昨年、不法投棄監視員をやったが、やはり林道で不法投棄が多い。今年になって、林道の入り口を施錠するというので、多少違うかと思う。やはり同じ人が捨てに来ている。〔坂小学校区〕

〔市〕不法投棄されているときは警察にも連絡してほしい。捜査をしてもらうことになる。無許可であれば、勝手に土を捨てるのも違法である。

## イヌ・ネコの問題

イヌのフンが、田んぼのあぜ道等で非常に多い。うまく宣伝してもらえないか。保健所から看板をもらって立てているが効果がない。〔中郷小学校区〕

イヌのおしっこは気にならないか。田方獣医師会から、飼い主のマナーを呼びかけるチラシが出ているが、自分はイヌの散歩の時にペットボトル2本に水を入れて、イヌがおしっこをしたら水で流している。〔西小学校区〕

近所にネコがいて、自分の庭におしっこやフンをする。匂いがひどいので困っている。〔西小学校区〕

地域ネコは一代で終わらせるためにしっかり去勢して、地域で見えていくということ。何かボランティアがあればぜひやりたいと思っている。皆も飼い主のマナーを考えてほしい。〔西小学校区〕

## ごみの分別と減量化

### ◎資源ごみの回収の取り組み

子ども会で毎年3回、町内の皆さんに協力いただいて、廃品回収を行っている。古紙は、子ども会にとって大きな収入となる。アルミ缶も夏にはたくさん出る。子どもたちも協力して、資源の大切さを実感できると思うので、今後もがんばっていききたい。〔錦田小学校区〕
子ども会で古紙回収を1ヶ月おきに行う。年々浸透してきている。〔沢地小学校区〕
子ども会の廃品回収に、子どもが来ない。役員さんが集めてしまう。都合もあると思うが、子どもが行うことが、地域づくり、絆づくりに役立つのではないかと思う。〔徳倉小学校区〕
公民館の敷地の中にストックヤードを置いてあって、いつでも新聞、雑誌、段ボール、缶を入れていただけるようにしてある。月に2回、子ども会役員3人位とその子どもたちが出て、業者に来てもらって回収している。〔向山小学校区〕
幼稚園のPTAでは牛乳パックを回収して、トイレットペーパーに交換している。エコキャップを回収したり、お菓子の空き箱やチラシ等を利用しておもちゃを作って遊んだりして、子どもたちのリサイクルへの意識付けを随時行っている。〔北小学校区〕

### ◎ミックス古紙の分別について

ミックス古紙に関しては、何が対象かということを知った。〔各小学校区〕
ミックス古紙の分別について、幼稚園でティッシュの箱やお菓子の箱が作品に変わる。今まではその作品を家に持って帰ってきた場合、どういうふうに処分するか悩んでいたが、子どもが作ったものでも、分別して捨てるかなと思った。〔錦田小学校区〕
ミックス古紙とはどういう物なのか分からない人が多い。環境美化の会議で、各置場にミックス古紙を啓発する掲示板を各町内5枚ずつくらい配ろうということになった。〔東小学校区〕
11月に2日間町内の文化祭をやるが、ミックス古紙についてパネルを作って、現物を並べて、これがミックス古紙ですよと説明する。このようなPR活動が重要だと思う。〔佐野小学校区〕
私のマンションでは、ミックス古紙の回収が始まった時に、全部見本を作って階段の所に展示した。今年もまた1回行った。年々改善はされつつあると思うが、徹底は難しい。〔徳倉小学校区〕

### ◎減量化の取り組みと課題

コンポスト容器は使い方が分からないという人がいる。コンポストを家庭菜園で使えば生ゴミが減るので、もう少しPRが必要。〔沢地小学校区〕
ごみ問題で町内で一番話題になるのが、ルール違反。なかなか減量化まで意識がいかないのが、発想の転換が必要である。美化委員が町内のチラシを作ったが、本来ならばルールを守ってくださいと書くところを変えて、ごみの減量化を考えてくださいと呼びかけた。〔錦田小学校区〕
地域の人たちがいくら生ごみを減らしても、事業者が努力しなければ全体量は減らないであろう。逆に、事業者が10%減らしたら、目標もあつという間に達成されるのではないか。事業者に対する取り組みをしないで、市民ばかりに啓発しているとしたら納得いかない。〔北上小学校区〕
三島市では何でも燃えるごみに出して良いという先入観があって、ミックス古紙等も定着しない。もう少し沼津市を見習って、市の指導で分別を徹底させてはどうか。〔長伏小学校区〕
個人的には、三島市のごみ行政が甘いからだと思う。沼津市や長泉町を見習って厳しくした方が良いのではないか。分別を徹底すればごみも減る。〔西小学校区〕

### ◎市民への広報の必要性

焼却炉の改修で26億円かかるとか、こういうふうにしなくてはならないということをもっと市はアピールするべき。結局は市民の負担で、お金がかかるということ。〔北小学校区〕
群馬県へお金を払って焼却灰を運んでいることを広報で知り驚いている。〔山田小学校区〕
AEDやミックス古紙のことなど、知らないことが結構あった。ごみの問題も、事実にもっと理解を示して、皆で横と縦のつながりをつけていくことが地域力につながる。〔佐野小学校区〕

〔市〕「ガーデンシティみしま」推進事業の説明とご協力をお願い  
三島市の水と緑、文化や歴史などの素晴らしい財産に新たに「花」を加え、これらを磨き上げ、住んでいる人も観光で訪れた人も癒される「美しく品格のあるまち」にするため、市民、NPO、事業者と行政が協働で推進していきたい。

## ◎ごみのない美しいまち

町内で「ごみゼロデー」と称して、家の周りなどをきれいにする取り組みを行っている。ただ年2回なので、毎月やるとか今後はもっと増やしていきたい。〔西小学校区〕

ごみの多い所は、泥棒が「この住民は地域活動に関心がない」と思うので、窃盗が多い。きれいなまちは、泥棒が少ない。防犯の観点からも、ごみのないきれいなまちづくりは重要である。

〔山田小学校区〕

ちょっとした所にごみが落ちている。そうしたら、見つけた人が拾いましょうと。自分達の住んでいる所をきれいにしましょうということが、ガーデンシティの1つ。ごみを拾うなどできることからやっていけば、全体のまちづくりにつながる。〔山田小学校区〕

皆が見て見ぬふりして、ごみが落ちていても拾わない。ごみを拾うという姿を大人が見せていけば、子どもたちは「ごみを拾うのは変な人」とは思わない。そういう意識を持って行動することが、きれいなまちをつくっていく第一歩であると思う。〔坂小学校区〕

松本幼稚園は、近くの事業所の方が毎年奉仕作業をしてくれたり、近所の皆さんがお掃除をしてくれている。地域に支えられているということ、ここでお伝えしたい。〔長伏小学校区〕

10年間手を付けないうまごみ集積所のブロック塀が真っ黒だった。今年、組長等約20名で、11か所全部きれいに塗り直した。ペンキ代が約4万円かかったが、専門家に依頼したら何十万円の仕事。なにより自分たちで自分たちの場所をきれいにしていくということが大事。〔向山小学校区〕

## ◎花いっぱい美しいまち

商店会でガーデンシティの土壌づくりということで、花とトマトの苗をもらい始めたが、商店主が花を育てたことがない。野菜に虫がついても消毒をしない。そこから教えていかないと。市や商店会の役員が花の管理をするのではなく、地域の方が進んで管理できるよう勉強会を開きたい。

〔東小学校区〕

地域の花壇整備を、有志の方にやっていただいております、たいへんありがたい。花壇の塀の清掃も他町内のボランティアの方がやってくれている。〔山田小学校区〕

市街地に従来からあるコンクリート製のフラワーポットは、子どもの自転車にとっては危ないという意見がある。ガーデンシティの活動と合わせて精査していただけたらと思う。〔東小学校区〕

大通りから1本はずれると歩道に雑草が生えていて、歩くのに邪魔になっている。大場川など色々回遊路を考えているようだが、ハード面の整備だけでなく、その後のフォローを考えていかなければと思う。〔東小学校区〕

スクールガードをしているが、防犯的な面でも、市で草刈りをしてもらわないと困る。しかし国交省の管轄などと言って実施してくれない。あまりに伸びているので私たちも忍びなく刈っているが、危険な場所もある。せめて学校の周りだけでもやってもらいたい。〔北上小学校区〕

樹木は災害時には倒れるし、公園などは伸び茂ると薄暗くなる。枝を切るのも、市は相当な費用だろう。街路樹も含め、樹木を撤去して、そこに草花を植えて、自分たちで管理するようにしたら、住民の絆もつくっていくのではないかと。〔沢地小学校区〕

町内のイチヨウ並木について、掃除が大変だとかいろいろ苦情が出てきて、あれを撤去してくれという話が毎年出てくる。町内で検討して、もし結論が出ればそれに基づいて市も考えてくれるのか。仮にあのイチヨウを撤去しようと決まれば、それでも良いのか。〔沢地小学校区〕

〔市〕同じ話が別の町内でも出て、強硬に切っ飛ばすという方がいたが、大反対運動が起きて、やめたという事例もある。地元の方たちでまず話し合いをしていただくのが基本。その結論が出たところで、市として相談に乗る。